

# 託児サービスについて

京都大学経済研究所 矢野 誠

# 動機

- 共働きのカップルが仕事をしやすい環境を
  - 共働きがこれからの家庭の一般的な形態になる

# 立ち上げの準備

- 高橋理香（法政大学）さんの提案
  - 立ち上げの基礎的準備はすべて高橋さんが引き受けてくれました
- 学会事務局の千葉悠さんの協力
  - 学会での施設の下見，業者との連絡など多大な協力をいただいています

# 託児室準備・運営委員

- 立ち上げ当初の託児室準備・運営委員
  - 委員長：渡辺雅仁(東京国際大学・委員長), 矢野誠(京都大学), 古川雄一(中京大学), 高橋理香(法政大学)
- 第二期委員
  - 委員長：矢野誠(京都大学), 高橋理香(法政大学), 松尾美紀(九州国際大学)
- 現在の委員
  - 委員長：矢野誠(京都大学), 青木玲子(一橋大学)  
松尾美紀(九州国際大学), 開催校のローカル委員
- 2013年度より, 本格的活動の開始
  - 委員長：青木玲子(一橋大学)

# 日本経済学会の託児サービス： 準備から現在まで

2012年10月8日

高橋 理香（法政大学）

# 学会託児の必要性

- 日本経済学会では、2009年より大会託児室を開設している
- 子供を抱えた会員は大会に参加し難い
  - 土日祝は子供を預ける場所が少ない
  - 会場近くの保育所に預けようと思っても、現地の保育事情を把握するのは難しい
- 託児室を大会時に設置する他学会も多い
  - 50以上の学会で実施（白井千晶『学会託児の現状』）
  - 理系・医系の学会では特に充実
- 日本経済学会でも託児室を開設したい(07年夏)

# 準備(07年・夏～)

- 他学会の状況を調査

- ① 他学会の事務局にアンケート調査を依頼

- 日本天文学会, 日本物理学会, 日本心理学会, 日本社会学会

- ② 他学会の託児室開設に関わった人々から学ぶ

- 加藤万里子氏(慶應義塾大学, 日本天文学会)
    - 那須壽氏(早稲田大学, 日本社会学会)

- ベビーシッター業者の調査と選定

- 全国ベビーシッター協会の加盟業者(安全性確保)
  - 調査の結果、京都大学内の託児室を運営する業者(アルファ・コーポレーション)に依頼

- 託児室開設の告知

- 関心を持つ会員にメーリングリストの参加を募る

# 日本経済学会での実施方法

- 世話人として託児室運営委員をおく
- 業者・事務局・開催校・託児室運営委員の連携
  - イベント託児の専門業者への完全委託(下見～片付け)
  - 開催校には場所の提供をお願いする
- 事故等の責任は業者が負う
  - 日本経済学会は責任を負わない
  - 業者が保険に加入する(全国ベビーシッター協会)
- 費用の多くを学会が負担
  - 利用者は1コマ(2h以上)あたり1000～1500円を負担
- 完全予約制
  - 大会1か月前からウェブで告知・申込
  - 生後3か月～小学6年生が対象



# 実際の様子

## 専修大学(09年秋)



- 場所は利用者のみ  
に伝える
- 大会会場から少し離  
れた場所に設置

# 実際の様子 専修大学(09年秋)



# 実施の様子

## 関西学院大学(10年秋)



- 安全面から「託児室」の貼り紙を外した
- 託児スペース・昼食スペース・授乳室を設けていただいた

# 実際の様子

## 関西学院大学(10年秋)



- 広いスペースのため、月齢に応じて過ごす場所を十分に確保できた。

# 実際の様子

## 関西学院大学(10年秋)



# 試験実施(09年度～12年度)

- 2年間の試験実施(09年度・10年度)
  - 09年春(京都大学):中止(新型インフルエンザの流行)
  - 09年秋(専修大学):はじめての実施・利用6件
  - 10年春(千葉大学):利用者ゼロ
  - 10年秋(関西学院大学):利用6件
- アンケート調査(10年夏)
  - 利用件数が少なかったため、利用者と関心を持つ会員に今後の継続について尋ねた
  - 回答者全員(11名)が託児サービスの継続実施を希望
  - 理事会への報告と共に、託児サービスの試験実施の延長が決まった(11年度・12年度)

# アンケート回答者によるコメント

- 日本の学会のお手本となるような試みだと思えます、ぜひ続けてください。
- 日本経済学会での保育サービスを大変ありがたく思っており、次回秋季大会でも申し込みを希望しております。是非、今後も継続していただければありがたく思います。
- ぜひ続けてください！本当によろしくお願いいたします。
- 利用させていただいた時は、とても親切で利用しやすかったと思います。値段がとてもリーズナブルで助かりました。
- まだ利用したことはないのですが、共働き育児（実家支援なし）の身から申し上げると、大変心強い制度です。

# 現在

- とくに問題なく実施できている
- 開催校のローカル委員の協力
  - 会場近くの病院など、地元の情報を提供いただいている
- 若手・女性研究者支援ワーキンググループとの連携
  - 今後、利用者間の情報交換も進むだろう